

教育委員会

だより

伊与喜小学校

「やさしく かしくく  
たくましく」仲間と共に  
学び合ひ子どもに...

校長 谷口 登志

【はじめに】

変化の激しい激動の社会を生きていくために、様々な力が求められています。そのため、本校でも、知・徳・体のバランスの取れた逞しい子ども達を育てていくよう、「家庭・地域・関係機関」との連携を大切に、日々の教育活動に励んでいます。

特に、小規模校であることに留意し、大人の手・目が届きすぎて「子ども達の育ち」を見守るより、口を出したり、手を出したりしてしまふことのないよう、指導の工夫も図っています。しっかりと児童が自分で考え、行動することができるよう、また現在の児童に欠けていると言われている、「根気」を身に付け、何事にもねばり強く取り組み

るようになって欲しいと願っています。

【学校教育目標】

教育目標は、「心豊かに学び共に生きる喜びを感じる児童の育成」と掲げ、その「心豊かな学び」として、

- ①めあて・目的を持って学ぶこと
- ②仲間と共に学ぶこと
- ③学んだことを生活に生かすこと

の3点を確認し、学校という集団の中でこそその学びや喜びを大切にした学校経営を行っています。

【「心」を育てる】

今年度も、人権教育・道徳教育を中心に、自然の営みや地域の方々、家族に感謝し、また周囲を思いやることのできる心温かい児童を育てたい



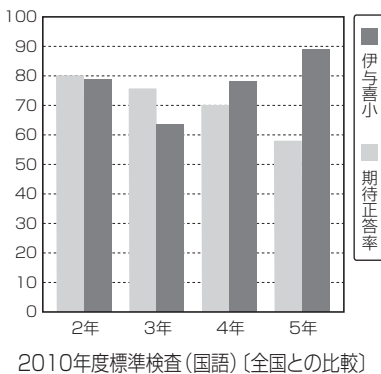
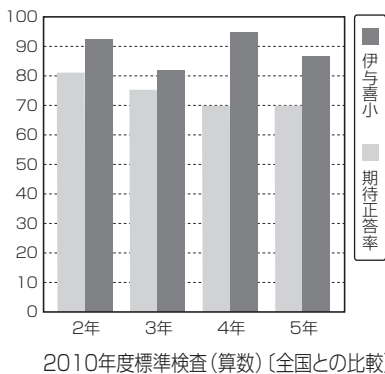
5・6年の発表朝会

と日々の活動を行っています。毎朝のマラソン等で心や体を鍛え、そして学んだことや思ったことを表現できる児童を育てています。

【学力向上への取り組み】

◆校内研修の充実

「研究授業の実施」  
全教員が授業を公開し、外部講師を交えての研修を積み重ねています。そして、より意欲的に児童が学習に取り組む授業となるように改善を行っています。また、チャレンジタイムを設定し、習熟のために反復練習や個別の学習指導を行っています。



右記のグラフは、今年4月に実施した標準学力検査の結果です。昨年度の学習がどのくらい定着しているのかわかることができます。ほとんどの学年が期待正答率を上回

本校は少人数での学習になりますが、「グループ学習」や「とも学び」を積極的に取り入れ、伝え合う力・コミュニケーション能力を高めるようにしています。

◆【上級生のリーダーシップ】  
登校から下校まで



1・2年の研究授業

朝の集団登校が始まって、休み時間や様々な全校的な活動において、しっかりと下級生を引っ張っていく5・6年生。おかげで、下級生がぐんぐん成長します。  
水曜日のお昼休みは、児童会主催の全校での「遊び」があり、1・2年生はとても楽しみにしています。  
今後も全校児童22名、みんなで伸びていきます。



**佐賀小学校**

「たくましく心豊かな  
児童の育成」をめざして

校長 高見 匡

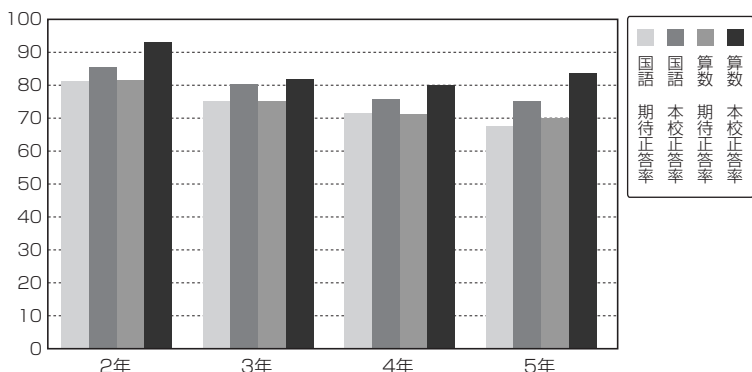


**【はじめに】**  
本校は、学級数9、児童数125名、教職員数15名で、教育目標を、「たくましく心豊かな児童の育成」とし、基礎学力を定着させる(知)、一人ひとりを大切に育てる(徳)、たくましい心と体を育てる(体)取組みを保護者や地域の方々の協力のもと日々行っています。

**【佐賀小の教育活動(学力)】**

「確かで豊かな「読む力」を育てる」を研究主題、互いに認め合い、かわり合う授業づくりを通して、子ども達の実体を把握しながら実践を行っています。

左記のグラフ「到達度把握調査」2～5年生で実施で分かるように本校の児童の学力は、期待正答率を上回り、ある一定学力はついているという結果が出ています。



しかし、観点別の値を見ると、特に文章を読み取る力には、まだまだ課題があり、子どもたち一人ひとりに確かな学力をつけるための有効な授業(かわり合う)とともに仲間の人権教育・道徳教育の授業はもとより、国語科の授業研究を全教員が行って授業力の向上を目指しています。

**【佐賀小の教育活動(仲間づくり)】**  
「互いに認め合いかわり合える仲間づくり」をめざして

本校は、人権教育を中心にした教育を行ってきいています。

1年生の目標「クラスや異学年の友だちと仲良くし、いろいろな人とのふれあいを通して、やさしい心を育てる。」から6年生の目標「自他の生命や人権の大切さを認識し、人権問題を自分と重ねて捉え、解決に向けて行動する態度を育てる。」まで、6年間を通してよりよい仲間づくりから、部落差別をはじめとするあらゆる差別を許さないしな子どもを育てる取り組みを行っています。  
仲間づくりの観点からは、相手を傷つける言葉、いやな

思いをさせる言葉を使わない取組みとして、2007年7月に児童会が言葉に対する宣言文を作成し、日々学校全体、学級で確認し合いながら子どもたち一人ひとりが、楽しい学校生活をおくれるように取り組んでいます。

部活動学習では、地域の関係者の方や保護者の方に協力をしていたりしながら、歴史学習はもとより、子どもたちの生活に活き、活動できることをめざした学習に取り組んでいます。

現在では、子どもたちも落ち着きのある生活態度・授業態度が見についてきていると感じています。

**【体験学習】**

佐賀地区では、高知大医学部の協力によって「三世代ふ



れあい健診」が行われています。本校の4～6年生が、地区のお年寄りとおふれあいながら健診のお手伝いすることを目的として参加させていたっています。

この健診は、夏休みに入っていることから保護者の承諾が必要ですが、保護者のご理解をいただき、ほとんどの子どもが参加しています。初めは小さな声しか出せない子どもも、時間をとおううちに大きな声がでるようになり、一所懸命にお手伝いする姿や自信に満ちた顔が見られ、貴重な体験となっています。



**【おわりに】**

児童一人ひとりの実態にあった教育活動を行い、児童が楽しく学習できる学校を目指していきます。